

登別中学校 学校便り

清く明るくおおらかに

令和6年11月22日（金）発行

【学校教育目標】

知…すすんで学び 正しく判断する
徳…思いやりを持ち 厳しさに耐える
体…命を大切にし 心身を鍛える

『自分で限界を決めない～「ノミの法則」から思う』

校長 毛利 憲 二

立冬を過ぎ、日一日と寒さが厳しくなり、全道各地から冬の便りが届く季節となりました。先日、6年生を対象にした新入生体験入学・保護者説明会を開催し、早くも新年度に向けた取り組みが始まっています。今度の新入生は中学2年生まで現校舎で学び、最後の一年間は統合初年度を迎え、幌中生として中学校生活を送っていくこととなります。統合に向け新たに導入される制服やジャージ、部活動や中学校生活へ向けた心構えなど市教委や教員からの説明に真剣に耳を傾ける姿が見られ、これからの中学校生活への期待の大きさが伺えました。

☒

ところで皆さんは「ノミの法則」という話をご存じでしょうか？ノミは体長2～3mm程度で犬や猫などのペットに寄生する小さな虫です。特徴としておよそ30cmほどのジャンプ力があり、これは体長の150倍の高さに相当します。人間に例えるなら170cmの身長の人にとって250m以上に相当し、北海道で最も高い建物48階建ての札幌のビルよりも高く、およそ55階建てのビルを跳び越えるぐらいのジャンプ力に相当します。そのノミをコップに入れておくと当然ぴよんぴよんと跳ね、簡単にコップの外に出てしまいます。そこでコップにふたをするとノミはジャンプを何度も試みてもふたにぶつかり、コップの外に出られません。これを繰り返していくうちにノミはふたにぶつからないように自分でジャンプ力を弱めてしまいます。その後、コップのふたを取ってもノミはふたがあった時と同じ高さしか跳べなくなってしまい、本来のジャンプ力を失ってしまうというものです。

この「ノミの法則」は私たち自身にもあてはまるケースが多く、うまくいかないときに「あきらめて、投げ出し」たり、「もう無理だ」と自分で結論付け、自分自身で限界を決めてしまうなど心当たりがあるのではないのでしょうか。

☒

ただし、この「ノミの法則」には続きがあり、ジャンプ力を失ったノミを普通に跳んでいる他のノミと一緒にコップに入れると、ぴよんぴよん跳んでいる仲間の姿を見て、本来持つジャンプ力を取り戻し、また以前と同じように高く跳べるようになるそうです。

中学生の皆さんには是非とも自分で限界を決めず、楽な道へと逃げることなく、自分が持っている可能性を信じ、努力を続けてほしいものです。「可能性は無限大、継続は力」です。

令和6年度 登別中学校 ふれあいデー

10/29(火)、地域と学校の連携を深め、生徒たちがさまざまな社会的・道徳的テーマについて学ぶ機会を提供することを目的として、「ふれあいデー」と称した学校公開を行いました。

この日は、4校時に授業公開、午後には地域の方を講師とした学年毎の講演会を行いました。また、今年初の取組として実施した「給食試食会」では、12名の申込みがあり、とても楽しい時間となりました。

おかげさまで多くの保護者・地域の方々に足を運んでいただき、学校の様子を見ていただくことができました。この場をお借りして感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

新入生体験入学・保護者説明会

11/12(火)、来年4月に入学予定の6年生とその保護者を対象とした「新入生体験入学・保護者説明会」を開催しました。

体育館での全体説明の後、6年生は中学校の授業見学と英語の体験授業に参加してもらい、その間、保護者の方々には引き続き、入学準備に関する説明を行いました。

説明の冒頭では警察の方に「スマホ・ケータイ等」に関する注意喚起のお話をいただきました。

また、この学年は3年進級時に幌別中との統合を控えていることもあり、今年度は市教委の方からの統合に関する説明、そして、部活動地域移行について説明がありました。その後の学校からの説明も、新制服や新ジャージについて等、今後の統合を見据えた内容が中心の内容となりました。会の最後は再び体育館にて、吹奏楽部による演奏を披露して会を締めくくりました。

11月は、「北海道心の教育推進キャンペーン強調月間」です！

北海道心の教育推進会議では、子どもたちに生命を大切にする心、他人を思いやる心、美しいものに感動する心などの「豊かな心」を育むことの大切さを、家庭や学校、地域や企業、団体などへ普及、啓発する活動を展開しており、11月を取組強調月間としております。

本校は、この趣旨に賛同し、北海道心の教育推進キャンペーンを応援しています。

